

氏名	長岡 清
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第 1651 号
学位授与の日付	昭和61年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学位論文題目	脳性麻痺股関節の X 線学的研究 — 主として学童期までの経年的変化について —
論文審査委員	教授 青野 要 教授 寺本 滋 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

香川県立ひかり整肢学園において昭和35年から同57年までの23年間に脳性麻痺と診断された1216例のうち、3才未満と6才以降に両股基本位前後像X線写真の保存されている141例を対象に脳性麻痺股関節の自然経過を研究した。Sharrard 分類でⅠ、Ⅱ型について、臼蓋角、CE角のX線計測を経年的におこない、痙直型独歩群を中心として病型別、運動能力別に、また手術群、対照群と比較し、統計処理をおこなった。

痙直型独歩群は非独歩群にくらべ歩行を契機に、臼蓋角、CE角とも正常に近くなり、幼児期の股関節形成に歩行という刺激が影響を与えることが確認された。また歩行の関与しない股関節においては、痙性麻痺による特定の肢位の強制は臼蓋の発達に悪影響をおよぼすと考えられた。さらに軟部組織手術の効果、骨頭変形についても言及した。

論文審査の結果の要旨

本研究は香川県立ひかり整肢学園において昭和35年より昭和57年間に収容された脳性麻痺患者の股関節についてX線学的に経年的変化について述べ、特に臨床的分類として股関節脱臼及び亜脱臼群と非脱臼群、独歩群と非独歩群、手術群と非手術群にわけ此等を臼蓋角、CE角、骨頭変形について研究しているが、これ等は整形外科的にみて極めて価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。